

2023年3月23日

**外食は回復傾向。コロナ禍前と「変わらない頻度」が34.5%で過去最多
勤務・所属する団体の宴会・飲み会「制限なし」は過半数に
昨年・一昨年の「歓迎会」やり直し開催予定・検討中は12.8%
『ホットペッパーグルメ外食総研』 第9回 外食実態調査（2023年2月調査）**

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の外食市場に関する調査・研究機関『ホットペッパーグルメ外食総研』（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、全国男女1,035人を対象に2023年2月、外食の現状や消費者心理について調査を実施しましたので、結果をお知らせ致します。

<要約>

POINT1 外食にコロナ禍前と「変わらない頻度で行く／行っている」が34.5%で過去最多、「当分様子見」は10.3%で過去最少。外食意向は急速に回復傾向 . . . P3-5

- ▶外食にコロナ禍前と「変わらない頻度で行くつもりだ／行っている」とした人は、過去最多の34.5%。一方、「当分は様子を見て外食を控える」とした人は10.3%で過去最少。
- ▶外食頻度がコロナ禍前と比べて変化した理由は、「感染不安」（52.4%）、「まだ自粛すべき」（17.6%）、「周りの目が気になる」（7.5%）などが引き続き減少。
- ▶今後の外食するお店選びで気にすることのトップ3は「換気」（45.9%）、「席の間隔」（42.5%）、「従業員のマスク着用が徹底されているか」（34.0%）。全体的には気にする項目の割合が低下し、ナーバスさが薄れる傾向。

POINT2 所属企業・団体から宴会・飲み会について「制限なし」が過半数（51.1%）に . . . P6-7

- ▶勤務・所属する団体から宴会・飲み会に関し、「制限はない」が51.1%、「なんらかの制限がある・計」が47.0%と、前回調査から多数派が逆転。
 - ▶この春の「歓迎会」「送別会」への参加意向は、「特に条件はなく参加したい」が19.8%、「条件付きで参加したい・計」が42.3%で、合わせて62.1%が「参加意向あり」の回答。
- ※今回の調査では「宴会・飲み会」は2023年の「送別会・歓迎会」への制限について尋ねています。

POINT3 昨年・一昨年に中止された「歓迎会」をやり直す予定・検討されている12.8% . . . P8

- ▶過去2シーズンで中止された「歓迎会」を今シーズンでやり直し開催する可能性、今年の「歓迎会」と「一緒に、または、別に開催することを予定・検討している」12.8%。「歓迎会」のやり直しを一部の職場や団体で行われそうなのが分かった。

本件に関する
お問い合わせ先

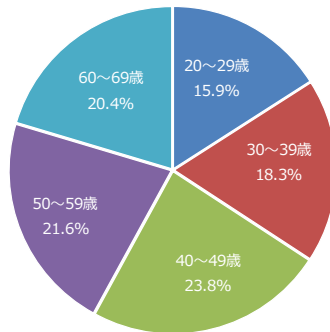
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2023年3月23日

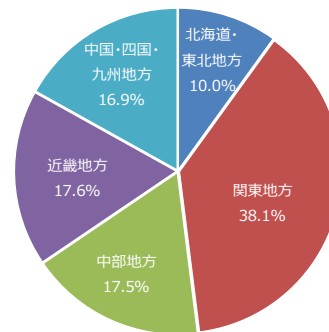
調査概要

- 調査名：「第9回 外食実態調査」
- 調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～69歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2023年2月2日(木)～2023年2月3日(金)
- 有効回答数：1,035件（男性519件、女性516件）

年齢



地域



※過去8回の調査概要は、P.11-12をご参照ください。

調査結果

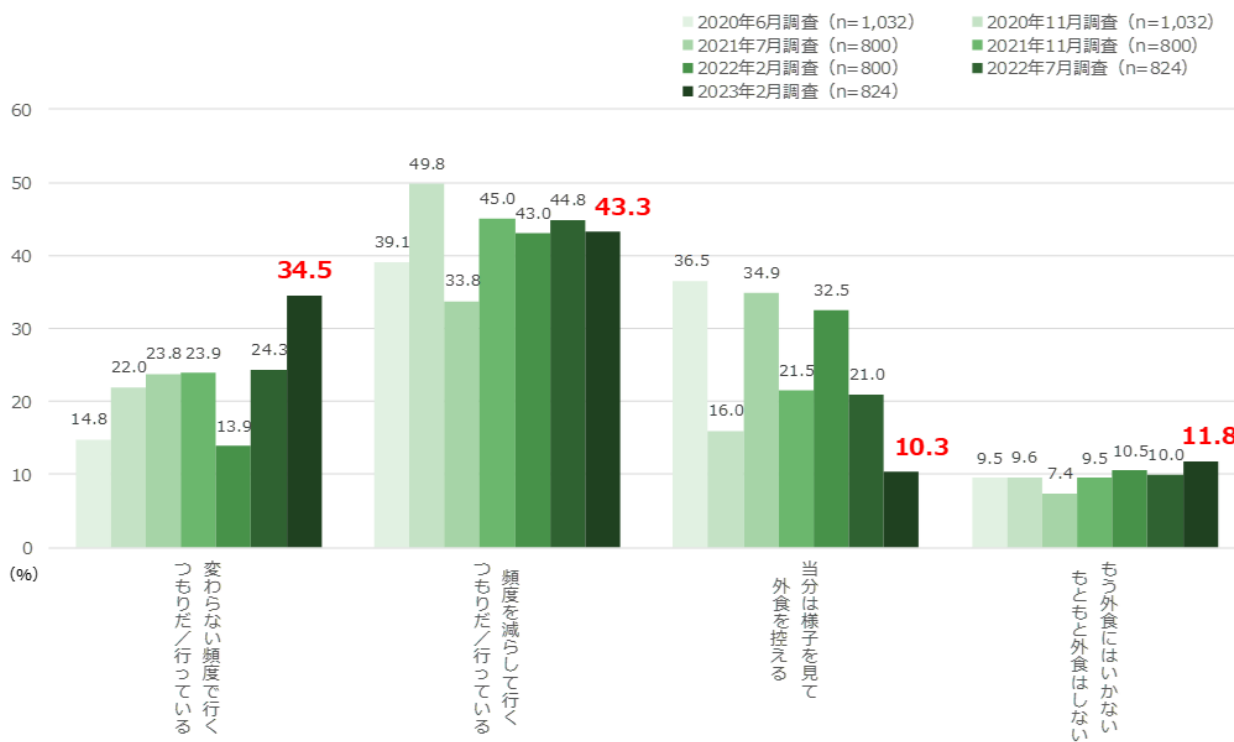
◆現在の外食意向

外食にコロナ禍前と「変わらない頻度で行く／行っている」が34.5%で過去最多、「当分様子見」は10.3%で過去最少、と外食意向は急速に回復傾向。

コロナ禍前と比べた現在の外食頻度の変化を20～59歳の人に尋ねた。コロナ禍前と「変わらない頻度で行くつもりだ／行っている」とした人は、前回の過去最高値（24.3%）をさらに大きく上回って、34.5%。一方、「当分は様子を見て外食を控える」とした人は10.3%でこちらは過去最少の数値であった。消費者の外食意向は急速に回復に向かっているようだ。

Q. 現在、外食に行こうと思いますか？ コロナ禍前（2020年3月以前）の外食頻度と比較してお答えください。

（単一回答、過去調査との比較のため59歳以下の外食意向者を集計）



※2020年6月、2020年11月、2021年11月、2022年2月、2022年7月、2023年2月：Q. 現在、外食に行こうと思いますか？ コロナ禍前（2020年3月以前）までの外食頻度と比較してお答えください。

※2021年7月：Q. 世の中の人々が新型コロナウイルスワクチンを指定回数接種し、一定期間経過した後に、外食に行こうと思いますか？ コロナ禍前（2020年3月以前）の外食頻度と比較してお答えください。

※「その他」の数値は経年比較では図の表示を省略

2023年3月23日

◆外食意向が変化した理由

「感染不安」(52.4%)、「まだ自粛すべき」(17.6%)、「周りの目が気になる」(7.5%)などが引き続き減少。

外食頻度がコロナ禍前と比べて変化したと回答した人にその理由を尋ねた。最も多かったのは過去調査同様に「感染しないか不安だから」の52.4%だが、数値自体は前回(62.5%)から10ポイント以上減少し、過去4回の調査結果との比較では2021年の11月と同スコアで最少となっている。前回調査で2番目に多かった「まだ自粛すべきだと思うから」も17.6%(前回31.0%)と大幅に減少、さらに「周りの目が気になるから」も7.5%(前回9.5%)と前回より割合が低下した。一方、感染リスクとは関連の薄い「収入が減ったから」が21.8%(前回13.9%)と増加して変理由の3番目に浮上している。全体として「脱・コロナ禍」の傾向が顕著に表れてきている。

Q. コロナ禍前(2020年3月)と比べて、外食頻度が変化した理由をお選びください。

(複数回答、過去調査比較のため59歳以下の外食意向者を集計)



※2021年7月からの調査項目、「その他」の数値は図では表示を省略

※2021年11月、2022年2月、2022年7月、2023年2月：Q. コロナ禍前と比べて、外食頻度が変化した理由をお選びください。

※2021年7月：Q. コロナ禍前(2020年3月)と比べて、ワクチン接種後をイメージした際に、外食頻度が変化すると思った理由をお選びください。

◆今後のお店選びで気にすること

気にすることのトップ3は「換気」「席の間隔」「従業員のマスク着用」。全体的にはナーバスさは緩和されてきている。

20～60代の外食意向のある人に外食するお店を選ぶ際に気にすることについて尋ねた。1・2位に挙がっているのは前回同様で、1位「きちんと換気がされているか」(45.9%)、2位「席の間隔が空いているか」(42.5%)。3位は、前回の4位から1つ順位を上げた「従業員のマスク着用が徹底されているか」で34.0%。マスクについては、屋外だけでなく屋内での着用義務も解除の方向でさまざまな意見があるところではあるが、スコアが下がりつつある中で消費者が気にする優先順位の中では相対的に順位が上昇しているということで、ここでも飲食店側の判断が難しい項目であるといえそうだ。とはいえ、ほぼ全項目でスコアは下がっており、お店の衛生対策について従来ほどはナーバスな問題ではなくなってきつつあるといえそうだ。

Q. 今後、外食のお店選びをする際に気にすることはありますか？あてはまるものをすべてお選びください。

※外食意向のある人を集計（複数回答）



※2023年2月のスコアで特記シート

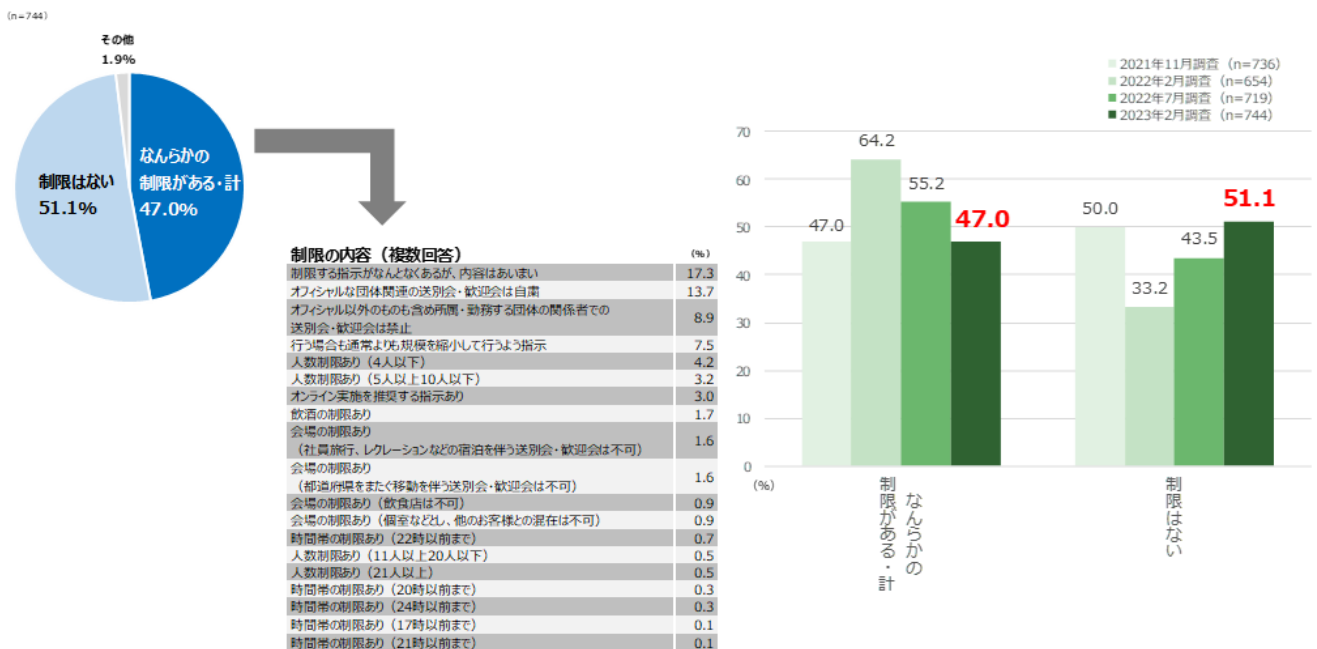
◆宴会・飲み会の制限についての指示

所属企業・団体から宴会・飲み会について「制限なし」が過半数（51.1%）に。

宴会や飲み会について、勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）から、なんらかの制限や指示が出ているかを尋ねた。細かい制限ごとの選択肢を積み上げて集計したところ、「制限はない」の51.1%に対し、「なんらかの制限がある・計」が47.0%と、多数派が入れ替わった。「制限はない」が5割以上になったのは、2021年11月調査以来のこと。いまだ半数近い企業・団体においてなんらかの制限が設けられているものの、制限緩和の方向性は明らかだ。

Q. あなたが勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）では、現在、団体関連の宴会・飲み会を制限するような指示がされていますか？仕事、学校、その他あなたが所属する団体での外食をオフィシャルとして、当てはまるものをすべてお答えください。複数の団体に所属する方は主な団体についてお答えください。

（複数回答、所属団体のある人）



※「なんらかの制限がある・計」は複数の制限がある場合は1件としてカウントして単一回答化したもの

※2021年11月：Q. あなたが勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）では、現在、忘年会を制限するような指示がされていますか？

※2022年2月：Q. あなたが勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）では、現在、歓送迎会を制限するような指示がされていますか？

※2022年7月：あなたが勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）では、現在、団体関連の宴会・飲み会を制限するような指示がされていますか？

※2023年2月：Q. あなたが勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）では、3月以降の送別会や歓迎会を制限するような指示がされていますか？

※「その他」の数値は経年比較では図の表示を省略

2023年3月23日

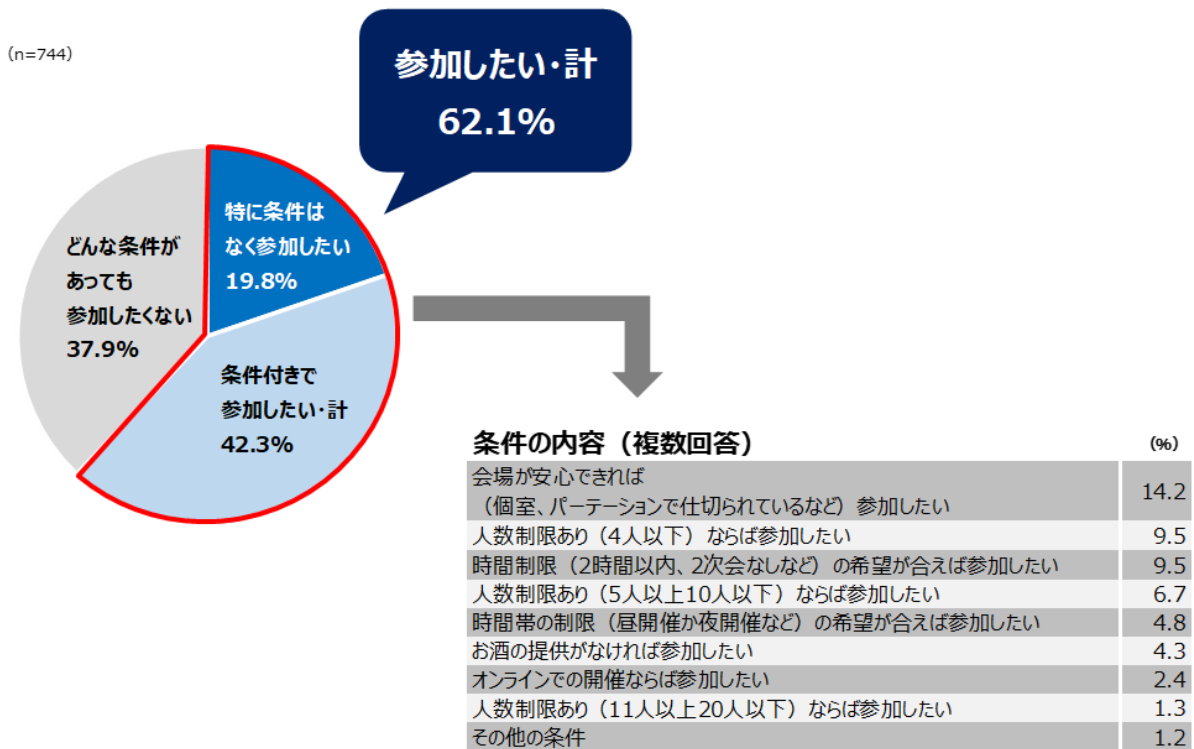
◆送別会・歓迎会への参加意向

「歓迎会」「送別会」への参加意向は「条件付き」を含めると**62.1%**。

勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）がある人に、2023年3月以降に送別会や歓迎会が開催される場合の参加意向を尋ねた。「特に条件なく参加したい」が19.8%、「条件付きで参加したい・計」が42.3%で、合わせて62.1%が「参加意向あり」の回答となった。一方、「どんな条件があっても参加したくない」は37.9%と4割に迫る割合で、意見が割れているようにも見える。参加したくない理由の全てがコロナ禍に関連しているものではないと考えられるため、将来的にコロナ禍が収まった場合にもゼロになることはないだろう。「条件付きで参加したい」の詳細を見ると、最多は「会場が安心できれば」（14.2%）だが、「人数」や「時間」の制限も複数の選択肢を積み上げると一定以上の割合を占めているため、幹事役は複数の安心できる要件をそろえることが求められそうだ。

Q.3月以降に開催される「勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）の送別会・歓迎会」と「家族・友人などプライベートな間柄で行われる送別会・歓迎会」について、以下それぞれ、どのような条件であれば参加したいかどうか、あなたのご意向をお聞かせください。

（複数回答、所属団体のある人）



2023年 3月 23日

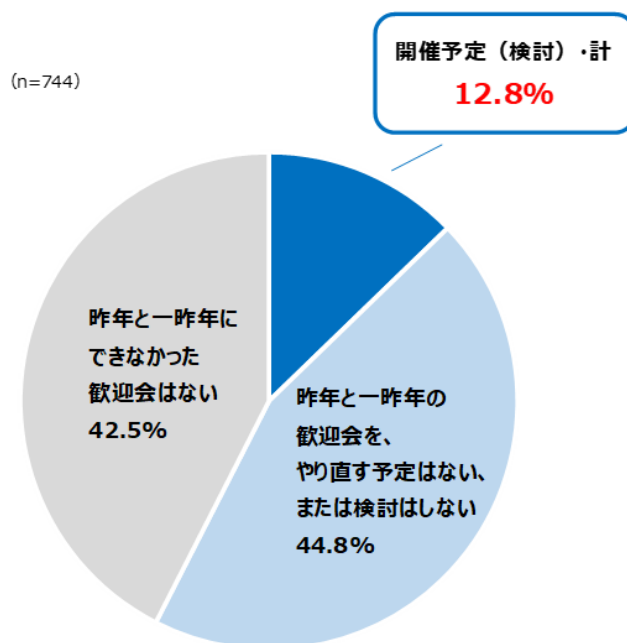
◆歓迎会のやり直しの予定について

昨年・一昨年に中止された「歓迎会」をやり直し開催を予定・検討されているは12.8%。

2023年はコロナ禍となってから4度目の「歓迎会」シーズンを迎える。勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）がある人に、うち直近過去2回のシーズンで中止された「歓迎会」を今回のシーズンでやり直し開催される可能性を尋ねた。「昨年・一昨年の歓迎会」を今年の「歓迎会」と「一緒に、または、別に開催することを予定・検討している」とした割合は12.8%。今年1月には「成人式」のやり直しが話題となったが、「歓迎会」のやり直しも一部の職場や団体で行われそうなのことが分かった。

Q.コロナ禍である昨年、一昨年にできなかった「勤務・所属する団体（勤め先、学校、その他）の歓迎会」を、今年やり直す予定がある、または検討をしますか。

（複数回答、所属団体のある人）



※「開催予定（検討）・計」:

「昨年と一昨年の歓迎会を、今年の方と一緒に開催を予定している、または検討している」+

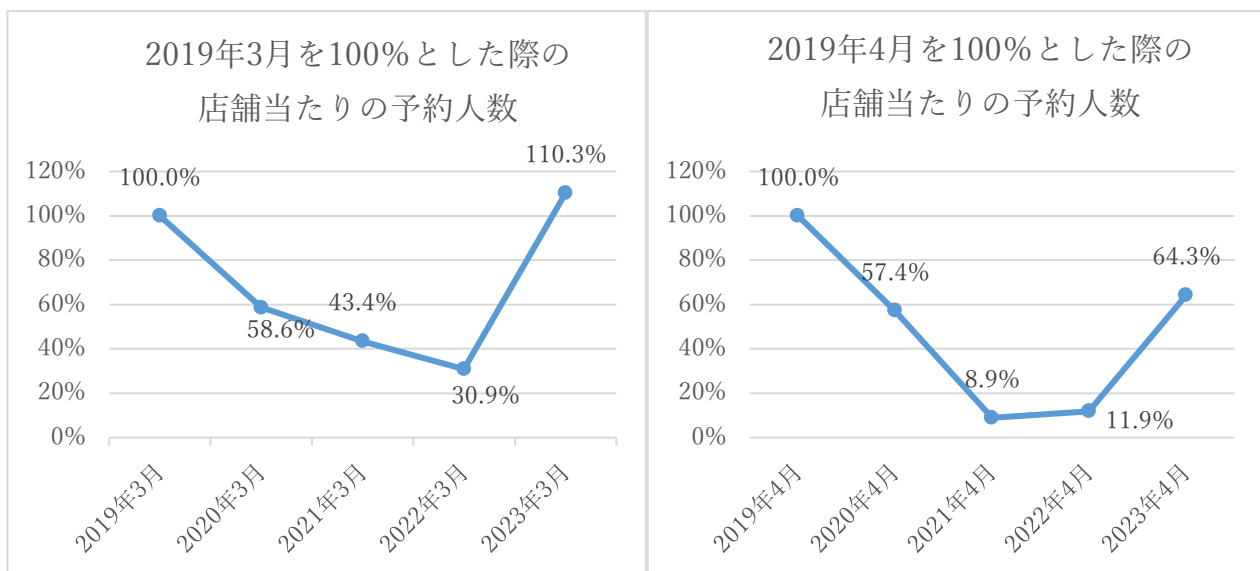
「昨年と一昨年の歓迎会を、今年の方と別に開催を予定している、または検討している」

※各選択肢のスコアの小数点第二位を切り上げているため、合計スコアが「100.1%」となる。

◆【参考資料】2023年3月・4月の『ホットペッパーグルメ』における予約状況について

予約件数は回復も、予約1件当たりの平均予約人数はコロナ禍前比67.0%と少人数化。

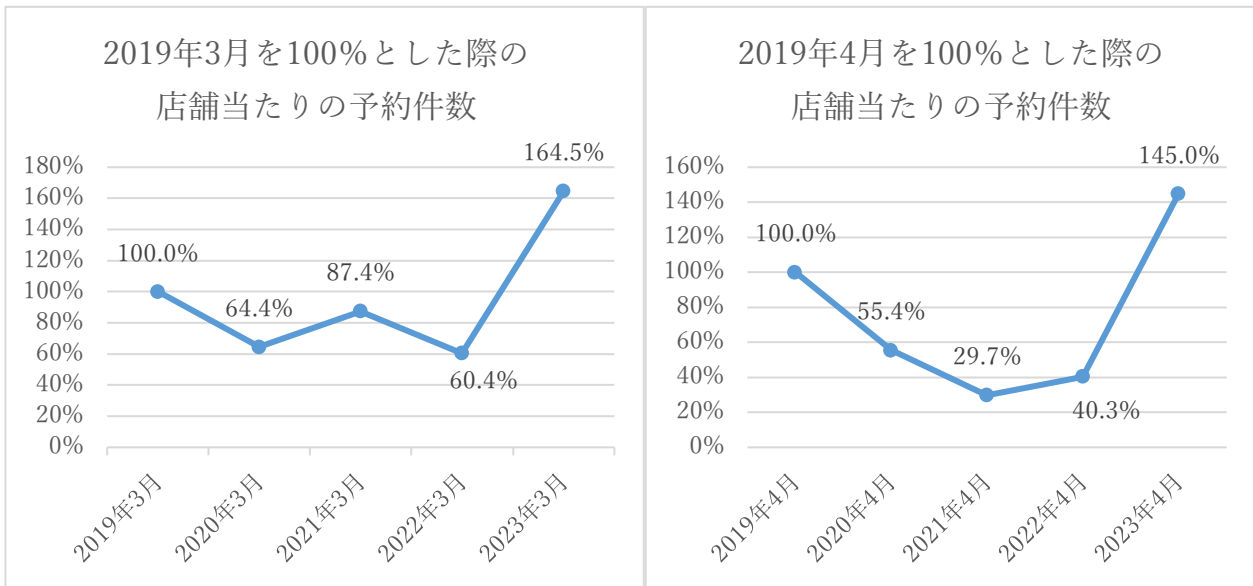
外食市場の回復具合を見る参考として、『ホットペッパーグルメ』における、2023年3月・4月のインターネット予約の状況（2023年3月9日時点）を2019年（コロナ禍前）～2022年の各年同日時点のインターネット予約の状況と比較したのがP9～10のデータ（実数は非公表）。予約人数は、2023年3月については、2019年比で110.3%、2023年4月については同64.3%と、3月については、コロナ禍前を超える予約人数となっている。近年、世の中の外食の予約方法が電話からインターネットにシフトしてきていることもあり、予約件数だけを見た場合は、2023年3月が2019年比で164.5%、2023年4月が同145.0%と、共にコロナ禍前を上回っている。一方、予約1件当たりの予約人数についてはコロナ禍前より大幅に減っており、2023年3月と2019年3月で平均人数を比べると、2023年3月は2019年3月の予約1件当たりの予約人数の67.0%と下回っている。これは、企業宴会などを含む5人～10人や11人以上での予約の割合が低下し、4人以下の予約の割合が増加していることに起因している。



※各年における3月9日時点での3月月間、4月月間の『ホットペッパーグルメ』によるインターネット予約人数（リクエスト予約含む）の比較

※抽出データは固定金額が発生する広告掲載をしている店舗を対象として集計

2023年3月23日



※各年における3月9日時点での3月月間、4月月間の『ホットペッパーグルメ』によるインターネット予約件数（リクエスト予約含む）の比較

※抽出データは固定金額が発生する広告掲載をしている店舗を対象として集計



(2023年3月の予約1件当たりの平均予約人数、2019年3月比) **67.0%**

※2019年、2023年における3月9日時点での3月月間の『ホットペッパーグルメ』によるインターネット予約人数（リクエスト予約含む）の割合

※抽出データは固定金額が発生する広告掲載をしている店舗を対象として集計

2023年3月23日

【参考・過去調査】

<第1回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-lifestyle/uploads/2020/06/RecruitLifestyle_ggs_20200626.pdf>

- 調査名：「第1回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2020年6月8日（月）～6月9日（火） ■有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

<第2回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-lifestyle/uploads/2020/09/RecruitLifestyle_ggs_20200915_2.pdf>

- 調査名：「第2回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2020年7月31日（金）～8月1日（土） ■有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

※本リリースの時系列比較では使用していません

<第3回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/recruit-lifestyle/uploads/2020/12/RecruitLifestyle_ggs_20201222.pdf>

- 調査名：「第3回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2020年11月6日（金）～11月8日（日） ■有効回答数：1,032件（男性516件、女性516件）

<第4回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2021/0422_8333.html>

- 調査名：「第4回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～59歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2021年3月26日（金）～3月28日（日） ■有効回答数：2,064件（男性1,032件、女性1,032件）

※本リリースの時系列比較では使用していません

<第5回調査：<https://www.hotpepper.jp/ggs/seminar/article/column/20210921>>

※第5回調査は2021年9月14日（火）実施の外食総研セミナーで使用し、プレスリリースを行っていません

調査内容は上記セミナー使用資料のP22～30参照

- 調査名：「ワクチン接種が進む中での外食実態」調査 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～69歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2021年7月19日（月）～7月20日（火） ■有効回答数：1,034件（男性517件、女性517件）

<第6回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2021/1202_9730.html>

- 調査名：「第6回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～69歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2021年11月5日（金）～11月6日（土） ■有効回答数：1,034件（男性517件、女性517件）

2023年3月23日

<第7回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2022/0408_10213.html>

- 調査名：「第7回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～69歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2022年2月18日（金）～2月20日（日） ■有効回答数：1,034件（男性517件、女性517件）

<第8回調査：https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/2022/0914_11631.html>

- 調査名：「第8回 外食実態調査」 ■調査方法：インターネットによる調査
- 調査対象：全国47都道府県に住む20～69歳の男女（マクロミル登録モニター）
- 調査期間：2022年7月25日（月）～7月26日（火） ■有効回答数：1,035件（男性519件、女性516件）

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>